

扱い	テレビ・ラジオ・新聞 制限なし
解 禁	なし

【記者発表資料】

平成24年1月10日

九州では初の取り組み！ 質問回答形式による大規模土砂災害を想定した 合同防災訓練を実施します。

島原半島における豪雨に起因する大規模土砂災害に対する、国土交通省及び長崎県、島原市、南島原市、雲仙市等の各防災担当者の防災、減災対応を訓練し、緊急時の災害対応の能力等の向上に資することを目的として、下記の通り合同防災訓練を実施します。

【開催日時・場所】

実施日時：平成24年1月13日（金） 13：20～17：30
参加機関：＜国＞ 長崎河川国道事務所、雲仙復興事務所
＜県＞ 危機管理監、島原振興局
＜市＞ 島原市、南島原市、雲仙市
開催場所：雲仙岳災害記念館（がまだすドーム） セミナー室

【訓練の特徴】

「質問回答形式」による訓練を行います。質問回答形式では、「進行者」と「訓練参加者」に分かれ、必要に応じて状況付与を行った上で、「進行者」が対応について質問し、これに「訓練参加者」が回答する形式で進行します。

例えば、進行者が「市役所さん、住民から電話でがけ崩れの報告がありました。どのように対応しますか？」と質問し、訓練参加者は「連絡をふまえて、発生時間と場所を確認して、〇〇部の担当に現地に行くように指示します。また、気象状況によっては必要な体制に入り、住民の安全確保のための避難勧告の検討や関係機関への報告を行います」といった回答を行います。質問は、大規模土石流の発生、天然ダム形成及び同時多発的に発生する土石流等の大規模土砂災害を想定します。

このような訓練によって、参加者は大規模土砂災害時の必要な対応や、関係機関の役割を再確認することができ、緊急時における行政機関の迅速かつ的確な対応につながることを期待されます。なお、「質問回答形式」による大規模土砂災害を想定した合同防災訓練は九州では初となる大変画期的な取り組みです。

発表記者クラブ
・島原記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
(0957) 64-4171 (代表)
技術副所長 田中 育穂 (内204)
調査・品質確保課長 前田 昭浩 (内351)
ホームページアドレス：<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

①基本的な進行

「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、必要に応じて状況付与を行った上で、「進行者」が対応について質問し、これに「訓練参加者」が回答する形式で進行する。このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行とはならない。

進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに対し質問する。



回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答してもらう。

訓練参加者

質問内容に応じて訓練参加組織内での回答者を決めて、発表する。



回答者は与えられた設問に対してその場で考え、すぐに回答してもらう(相談する等の時間的な余裕はない)。

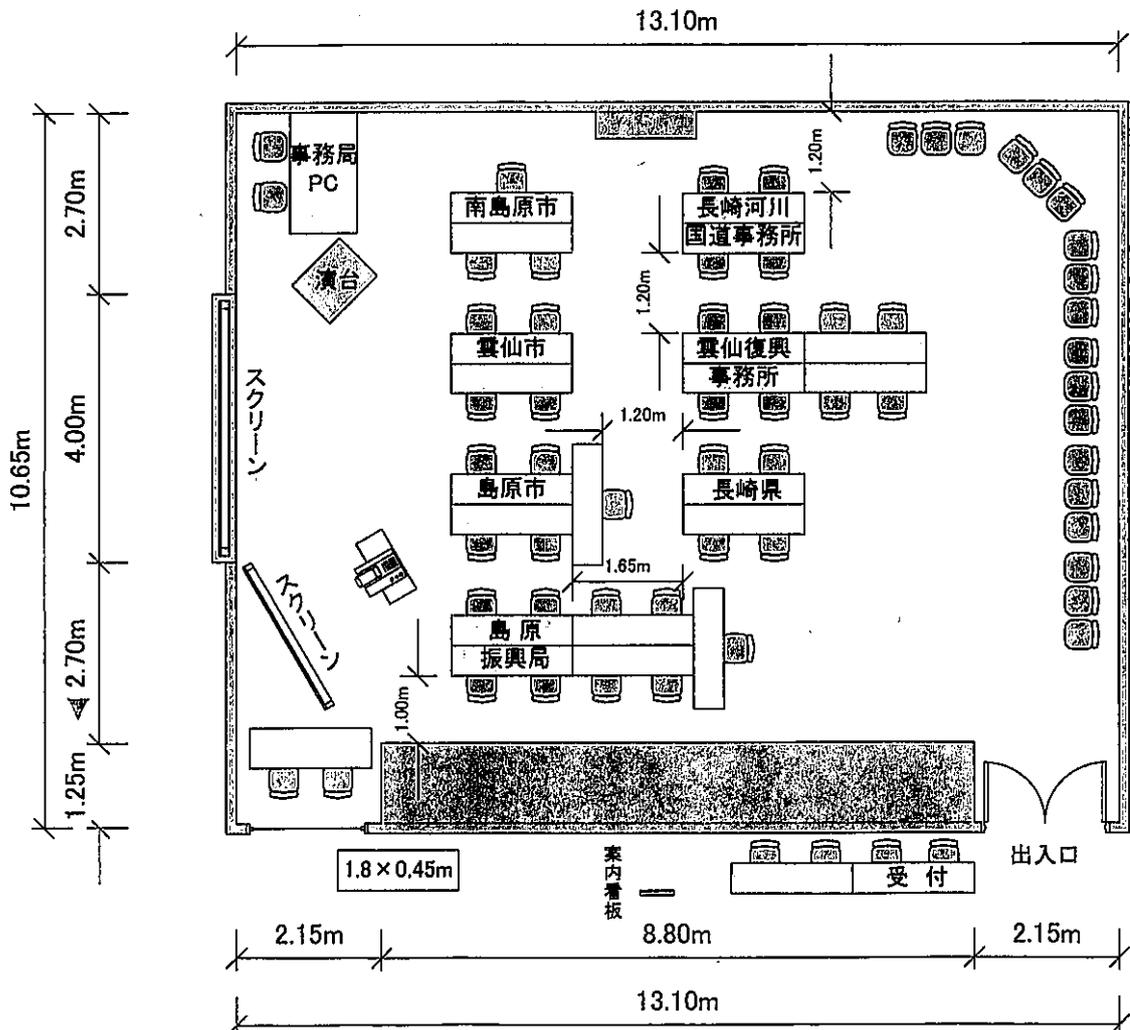


図 1.2 会場レイアウト (案)